



「北海道Society5.0推進計画」 (令和3年3月策定)

「北海道Society5.0推進計画」

概ね10年後（2030年頃）の「北海道の未来社会」である「北海道Society5.0」の実現に向け、その中間である2025年までに取り組むアクションプラン。

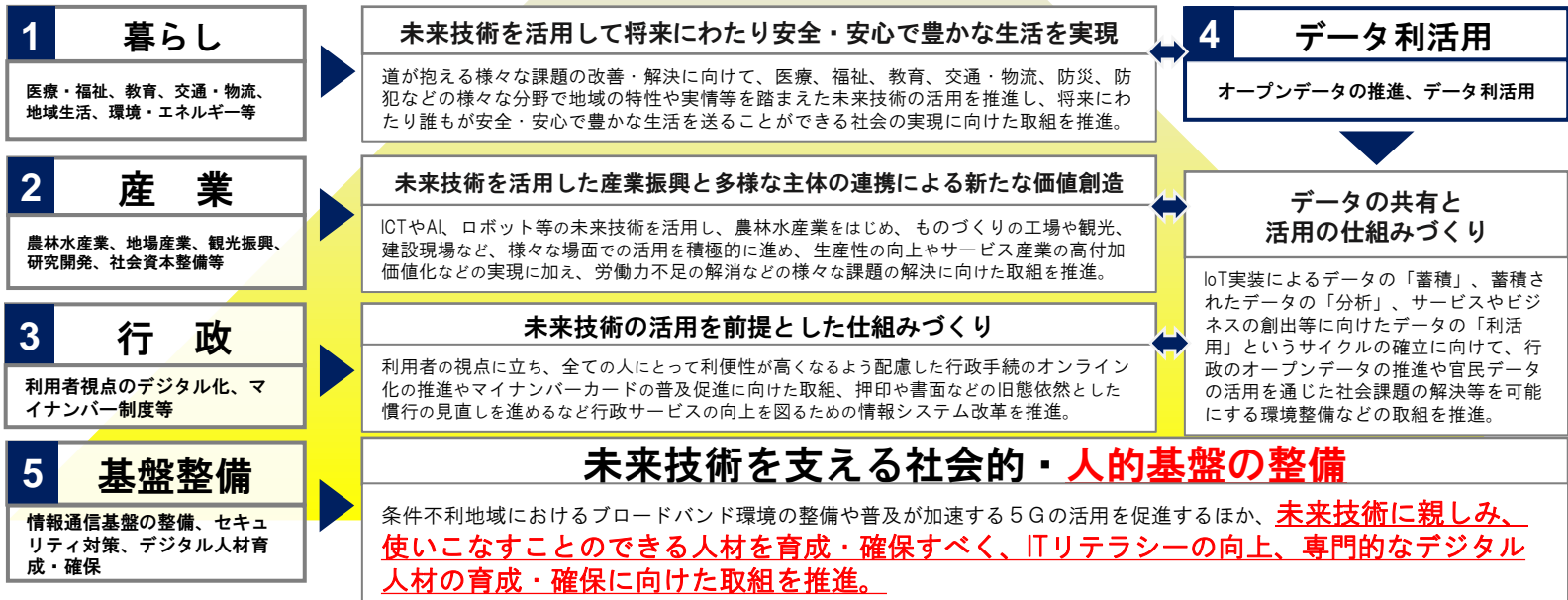
基本理念

『未来技術を活用した活力にあふれる北海道』の実現

計画期間

2021（令和3）年度～2025（令和7）年度

取組方針



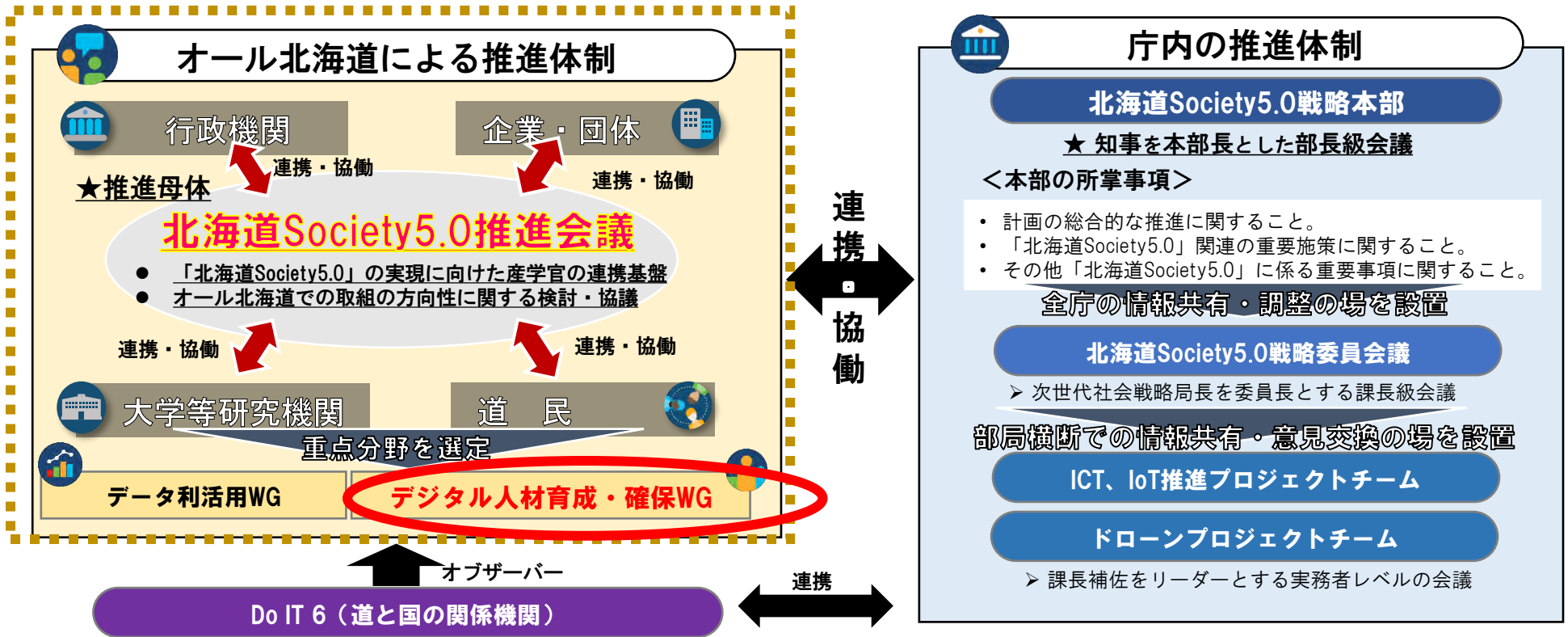


「北海道Society5.0推進計画」の推進体制



北海道の役割

→ 「次世代社会戦略監」（R3.4月設置）が司令塔となり、道庁一丸となってオール北海道で取組を推進



北海道Society5.0推進協議会 デジタル人材育成・確保ワーキンググループ

R5.3.14 北海道人材育成推進協議会



ワーキンググループの開催状況

第1回

日時 : 令和4年7月21日(木) 15:00~17:00
場所 : 北農健保会館3階 芭蕉・Web会議
主な議題 : 北海道経済産業局様、北見市様からご報告
意見交換

第2回

日時 : 令和4年10月11日(火) 15:00~17:00
場所 : 北農健保会館3階大会議室・Web会議
主な議題 : 広島県様、ベネッセコーポレーション様からご報告
意見交換

第3回

日時 : 令和4年12月6日(火) 14:00~16:00
場所 : 北海道第二水産ビル4F会議室・Web会議
主な議題 : 事務局資料の説明
意見交換



メンバー

氏名	所属・職(敬称略)
小松川 浩	公立千歳科学技術大学情報システム工学科 教授
重田 勝介	北海道大学情報基盤センターメディア教育研究部門 准教授
入澤 拓也	一般社団法人北海道IT推進協会 会長
山形 巧哉	山形巧哉事務所

検討内容

- 昨年度のWGでの検討へのブラッシュアップを実施。
- 先進地域の事例紹介や民間事業者の取組についてヒアリングを実施。
- 本道において必要とするデジタル人材の定義及び育成・確保するための取組の方向性について協議を行い、取りまとめを実施。

北海道Society5.0推進協議会

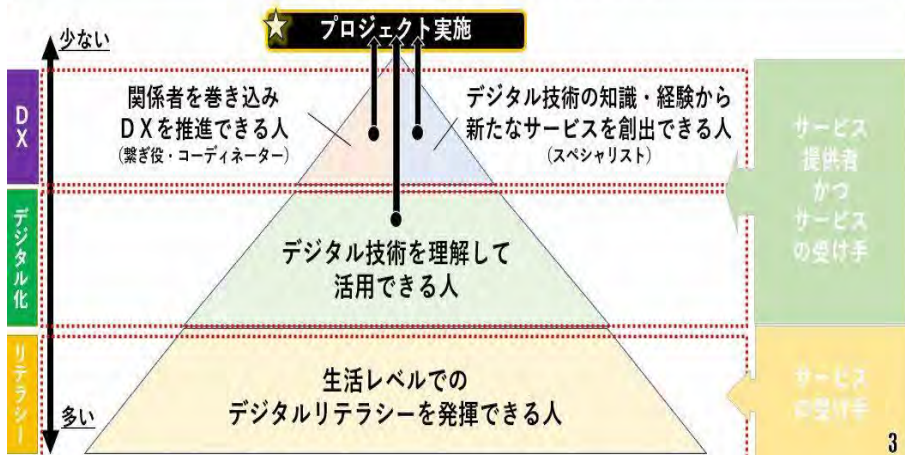


デジタル人材育成・確保ワーキンググループの検討結果

目指すべき姿 (目標)

- 道内各地にデジタル技術の実装プロジェクトを推進できる人(組織)がいる(ある)状態
- 道内各地でデジタル技術を活用した企画が推進され地域活性化に繋がっている

北海道Society5.0実現のために望ましい地域の姿



デジタル技術の知識・経験から新たなサービスを創出できる人	IT産業を牽引しデジタル技術で本道を支える人材の育成・確保
関係者を巻き込みDXを推進できる人	<ul style="list-style-type: none"> 道内の理工系・情報系大学・高専及び道内IT企業等と連携して高度な教育プログラムの提供を図る カリキュラムマップの整備・コンテンツ提供・若手技術者の道内定着の方策の検討 今後、成長が期待されるAIやブロックチェーンなどの先端技術を活用して新たなビジネス・サービスを創出する起業家精神を持った人材の育成・確保に努める
デジタル技術を理解して活用できる人	DXを着実に推進できる中核人材を育成・確保
生活レベルでのデジタルリテラシーを発揮できる人	<ul style="list-style-type: none"> デジタルを一過性のブームと捉えず、着実にデジタル改革を自組織を始め道内各地で推進できる人材を育成・確保 自業界の知識・スキルとデジタルの知識・スキルの両方を備えたデジタル推進人材を道内全域で育成・確保 行政及び道内企業、地域の高校生・大学生・市民等とデジタル技術を活用して地域課題解決を図るための研修プログラムを実施するなど、実践的な学びの機会を継続的に提供する
	働く全ての人々がデジタル技術を当たり前に使こなせる水準に
	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用・導入を前向きに捉えて自発的に知識・スキル習得に努められるような環境づくりに取り組む 道内の非IT業界で働く方々のデジタルに関する知識・スキルの底上げに産学官が連携して取り組む デジタル技術に気軽に触れ知ることが出来る機会を作る 道内IT企業・自治体と連携して課題解決型研修/教育プログラムの企画/実施に取り組む(企業課題・地域課題)
	DX推進のための機運醸成・道民の意識改革を図るための環境づくりを推進
	<ul style="list-style-type: none"> 道内大学や民間事業者と連携し、デジタル技術の基礎やトレンドを学ぶセミナーや勉強会などを実施 道民の方へ北海道が目指す未来の姿「北海道Society5.0」を分かりやすく伝えるため、各種セミナーやシンポジウムの開催などを通じて普及啓発や機運醸成を図り、道民の意識改革の促進などに取り組む 文科省認定の大学・高専と連携して公開講座や提供講座の充実を図り、道民の学習機会の増進に努める カリキュラムマップやラーニングパスの整理を大学等の専門機関と連携し取組、情報公開に努める

▲北海道Society5.0実現のために望ましい地域の姿

現状・課題

- 国及び民間事業者も含めて既存の教育プログラムは充実しているほか、大学においてもオープンコースウェアとしてプログラムを提供しており新規で作成する必要はない。
- 国の事業では特に外部デジタル人材の確保に関する施策が充実している。
- DXに向けた機運醸成を高めるほか、個人や組織のマインドセットをいかに変えるかが課題。

今後の取組

▲本道における各人材の育成・確保の方向性

- 学ぶ環境整備に向けた道内キーパーソン・学校へのヒアリングを通じた**情報(事例やコンテンツなど)取りまとめ(情報の集約化)**
- 無償オンライン講座等様々な学習機会の活用に向けた**情報発信※ラーニングモデルの提示やホームページなどでの情報まとめなど**
- 学習証明書の発行(オープンバッジ)を通じたデジタル人材の見える化**に向けた検討
- 本道の**地域課題を題材とした模擬演習プログラム**の構築に向けた検討・実施
- デジタル実装が進みやすくなるような**地域風土・企業風土づくり**への支援



北海道庁のデジタル人材育成・確保に関する取組例

項目	対象	内容
能力開発セミナー	企業の在職者	地域のニーズに応じ、在職者の方々向けにデジタル技術に関する職業訓練を実施
女性向けプログラミング講座	一般女性	女性デジタル人材育成に向けたモデルとして、初級者向けプログラミング講座を実施（合計10日間）
デジタル人材実装研修モデル作成事業	市町村職員	地域に身近な産業を題材としてDX推進のための基礎となる考え方を学ぶ研修プログラムを実施（農業（空知）、水産（釧路）、観光（オンライン））
オンライン研修プログラムの提供	市町村職員	民間企業との連携協定により、オンライン学習コンテンツを毎月1本ペースで提供
IT業界説明会の開催	一般求職者や新規学卒予定者等	道内IT業界の現状や道内IT企業各社による取組を情報提供する説明会を開催
IT企業職場見学ツアーの開催	道内IT系専修学校生等	企業における業務内容や職場環境への理解を深めてもらうよう職場見学ツアーを開催



北海道職員のデジタル人材育成に関する計画

令和4年11月策定

策定趣旨 (取組期間：令和4年度～令和7年度（4年間） 対象：すべての道庁職員)

国の「デジタル社会の実現に向けた重点計画」（R4.6月閣議決定）や「デジタル田園都市国家構想基本方針」（R4.6月閣議決定）などを踏まえ、R4.3月に策定した「Smart道庁の推進に向けたデジタル化取組方針」に基づいた道庁におけるデジタル人材の育成・確保の方向性や具体的な取組を示すもの。

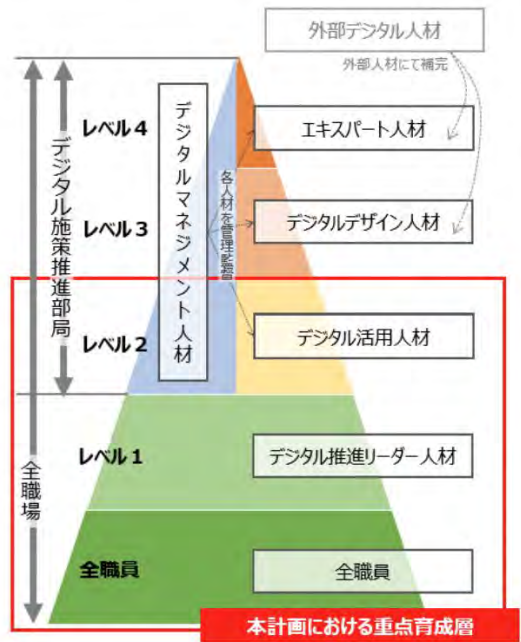
目指す人材像

●デジタルに親しみ、活用の道筋や効果を積極的に全道へ発信することで、デジタル活用の社会風土の醸成に寄与し、イノベーションの起爆剤となる職員

- 本計画のポイント
- 広く職員が受講できる研修の充実を図り、デジタル推進リーダー（レベル1）を育成、各職場でデジタル化の先頭に立つ。また、民間企業と連携等しながら、より高度なデジタル人材（レベル2以上）を育成
 - 高度な専門知識・技術を持つデジタル人材を外部から確保し、施策へのアドバイスや内部研修講師を務める
 - デジタル人材区分の設定やスキル認定などにより能力の見える化を図るとともに、表彰などにより能力発揮へインセンティブを高める

取組内容

- 職員研修・・・効率的な研修プログラムの整理・実施等
- 学習機会の情報提供・・・外部コンテンツの活用等
- デジタル推進リーダーの設置・・・各課に1名配置し、各職場のデジタル活用・意識向上に向けた取組を展開
- デジタル人材の確保・・・外部からの任用、職員への表彰等



▲デジタル人材区分